

目次

八 はじめに

1章 動物との婚姻

動物の女房

一四 鶴女房

一七 蛇女房

二四 狐女房

三一 魚介系の女房

四二 蛙女房

蛇女房 一七／蛇性の姪 二二

狐女房・聴耳型 二六／木幡狐 二七／狐女房(韓国) 三〇

魚女房 三二／蛤の草紙 三三／田螺女房①(韓国) 三六

田螺女房②(韓国) 三七／田螺女房③(中国) 三八／崖の上のポニー 四〇

金魚姫 四一

蛙女房 四二／三枚の羽根 四三

四六 猫女房

四八 むかで女房(韓国)

四九 熊女房

五二 虎女房(韓国)

動物の夫

五四 猿

五八 蛇

六八 田螺

七一 蛙

七五 馬

八〇 犬

八六 熊(アイヌ)

八八 蟹

猿 西日本型 五四／猿 東日本型 五五

蛇 芋環型 五八／蛇 水乞型 六〇／蛇 単純婚姻型 六一  
青大将(韓国) 六三／天稚彦草子 六五

ひきがえる 七二／蛙の王さま 七三

オシラサマ 七五／馬の恋(中国) 七八

犬 八〇／伏姫と八房 八三

かにと結婚した女(アイヌ) 八八

## 2章 異界(異郷)の者との婚姻

### 水界

九二 竜宮女房

九四 浦島太郎 九四／オシーンと常若の国(アイルランド) 九七  
海神別荘 九九／ウンディーネ 一〇一

### 地上にある異界

一〇五 木霊女房 一〇五／木霊女房②(三十三間堂棟由来) 一〇七

一〇八 瓜子姫 瓜姫物語 一〇九

### 天界

一一一 天人女房 一一一／竹取物語 一二四

一二七 竹の子童子

一二九 笛吹罨 笛吹藤平 一二九

## 3章 異形の者との婚姻

### 異形の女房

一二四 雪女

一二八 食わず女房 一二八／食わず女房②(熊本県) 一三〇  
双面(スー族) 一三二

一三四 幽霊女房

一三七 姥皮

一三九 鉢かづき

一四二 メリュジーヌ

一四五 人魚女房 一四五／人魚女房(韓国) 一四九

### 異形の夫

一五一 一寸法師系の話 すねこたんべ 一五一／五分次郎 一五二／一寸法師 一五四

一五七 美女と野獣(フランス)

一六〇	鬼聲	鬼聲 一六一／鬼の子小綱 一六二
一六四	片側人間	鬼の子小綱・片側人間型 一六四／片側人間(韓国) まつぶたつの男の子(イタリア) 一六九

## 4章 異類婚姻からみえる人間社会

### 日本の異類婚姻譚の特徴

一七六	短期間の体験	
一七八	〈出会い〉と〈別れ〉のサイクル	
一八〇	「人間界」と「異界」この交換	鶴女房・養女型 一八一／竜宮童子 一八二
一八四	「もどきに戻る」という構造	

### 「異なるもの」の排除

一八六	異類聲への殺意
一八七	利益相反と相互利益
一九〇	「片側人間」という形象

一九二	「新しいファンタジー」創造へのヒント	
一九五	「見るな禁止」をめぐって	
一九五	別れの美学	
一九六	「あわれ」と「うらみ」	
一九八	心変わりと幻滅	
二〇〇	幻滅を越えて	
二〇四	「変身」をめぐって	
二〇四	ルッキズムと「変身」	
二〇五	反ルッキズムの視点から	カムイとの婚姻(アイヌ) 二〇七
二〇九	アニメズムと日常的秩序感覚	
二二三	秩序の維持とジエンダー	
二二六	おわりに	
二二〇	引用・参考文献	

※本文中の引用・参考文献などは原則( )に執筆者や訳者などの姓と出版年を記載しています。詳細は220ページの「引用・参考文献」をご参照ください。